

春学期は非常に寒さの厳しい1月から始まりましたが、徐々に暖かくなり日も長くなっていく、そんな嬉しい変化の中で前学期以上に充実した日々を過ごすことができたと感じます。

まず始めに前回の留学報告書で示した目標の振り返りから入りたいと思います。

私は、今学期、「視野を広げる」ということを目標として生活してきました。その指針の一つとして、学校以外での出会いに目を向けること、二つ目に勉強以外の学びを得ることを挙げました。そこで私は、本格的なお菓子作りや、アロマセラピー、ハンドリフレクソロジーなど、日本にいたときから興味を持っていたスキルを得るためのイベントに何度か参加しました。これらのイベントには、私と同じ世代の方は誰も参加していませんでしたが、そこでたくさんの素敵な大人たちに出会い、「困ったらいつでも連絡してね!」と連絡先も交換して、周りの人々のやさしさに触れ、感動しました。学業が大事なのはもちろんのことですが、それだけにとらわれず、他のことにも挑戦できて、とても充実した機会となりました。

そして、前回申した「飢餓問題の解決について様々な方向から考えてみる」という目標に関してですが、日々のリサーチなどから、生物方面だけにとらわれずにアプローチできる視点がいくつも見つかりました。大きな問題ほど解決することは大変だけれども、たくさんの原因があるからこそ色々な観点からの解決を試みることができるのだなと気づかされた次第です。

さて、今学期はいよいよ大学入試の対策が私たちの学年へとシフトしてきました。その一部として、オックスブリッジ受験候補者の選抜ミーティングのようなものが始まりました。これは、各科目の先生たちが話し合った上で選ばれた生徒たちが招待されるというシステムです。(選ばれなかった場合も、先生に申し出て相談したのち、参加できるようになります。)ここでは、オックスブリッジに出願する上での心構えや入試情報などを主に聞きました。自己推薦文や模擬面接などはもう少し後になってから始まるそうです。

また、自分の興味のある科目の発展的な内容に触れるアクティビティも始まりました。私は、**Chemistry Extension Club**, **Physics Extension Club**, **Oxbridge Maths Club** (それぞれ週一回)に入りました。ここではさらに人数が少ないので、先生や他の生徒とリラックスしてディスカッションを楽しんだり、授業では習わない内容に踏み込んだりできます。私はこれらのアクティビティが毎週楽しみで仕方ありませんでした。

勉強以外の活動としては、学校内の **Instrumental Competition** に参加しました。私は、あまり人前でバイオリンを弾くことが好きではないので、最初に先生に出てみないかと言われたときは断ろうと思いました。しかし、スコットランドに来たばかりの時にハウスミスト

レスに言われた、“Say yes to everything”という言葉思い出して、とりあえず出てみることにしました。最初はあまり乗り気ではありませんでしたが、楽器を弾くこと自体を純粋に楽しめて、結果として驚くことにファイナルラウンドまで残ることができました。与えられた機会を一つも無駄にしないということは本当に大事なのだなと気づかされました。

最後に、夏までの目標を書きたいと思います。

二月に、ケンブリッジ大学の Subject Masterclass というイベントに参加しました。これは、二つの講義と、ケンブリッジ大学の入試情報についての三本立てのもので、私は **Biochemistry and Genetics** の講義に参加しました。ここで、実際にケンブリッジ大学で教えている教授の講義を受けて、私自身も最高に楽しめたのですが、何より教授が一番楽しそうに話していたことが印象に残りました。自分の研究が大好きで、誇りに思っているのだなと強く感じ、「自分も将来こうなりたい！」と強く感じました。

そこで、私も、理科自体大好きなのですが、中でも本当にこれは面白い！と情熱的になれる内容を模索していきたいです。まだ大学に入って専門的に何かを学んでいるわけではないのですが、早すぎるということはないと思うので、今からでも、調べていくうちにどんどん引き込まれていく世界を感じてみたいです。

現在、世界中が大混乱となっていていますが、そんな中私を支えてくださる方がたくさんいらっしゃり、感謝の気持ちでいっぱいです。改めて、ありがとうございます。

早く終息してもとの日常が戻ってくることを強く願っています。